健康について考える講演会を開催しました

スーパーバイザー委嘱式後には、大石教授による記念講演会を開催し、「豊かな老後のために今できること」をご講演いただきました。会場には、約700名の来場があり、生活の中で簡単に実践できることを、笑いを交えながら、わかりやすくお話していただきました。また、大石教授に引き続き、鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻基礎理学療法学講座の牧迫飛雄馬教授による「介護予防・認知症予防のために今からできる運動」が行われ、講演を聴きながら、イスに座ったままできる運動を教えていただきました。牧迫教授は、運動の分野の専門家として、今回進めているプロジェクトの一員としての研究を予定しています。このように各分野の専門家の先生方にプロジェクトに関わっていただき、トータルとしての「健康づくり」を皆様とともに目指していきます。これからもさまざまな健康づくり事業へご参加くださいますようお願い申し上げます。

Lectrure　スーパーバイザー委嘱記念講演会　【4月30日（日）午前10時30分～垂水市文化会館】

1

2

3

1 講師／大石充教授　2 講師／牧迫飛雄馬教授　3 座長／垂水中央病院竹中俊宏院長

11ページで取組に関する記者会見の模様をご紹介しましたが、当日会場にいたお二人の方から取組に対する期待の声をいただきましたので、ご紹介いたします。

子どもたちの健康を守りたい。（吉國 幸宏）

私が以前赴任していた小学校で小児の高血圧や糖尿病などの生活習慣病に悩む子どもがいました。小児の生活習慣病は、その時は命への影響はないかもしれませんが、大人になってから生活への影響が懸念されます。また、子どものうちから生活習慣病などの悩みを抱えることで、物事に意欲的に取り組めなかったり、自信が持てず、何でも諦めてしまうなど、子どもたちの気持ちにも影響を及ぼしかねないと考えています。記者会見において、大石先生が、他の地域で小中学校の健康状態についてデータベース化したものを解析する仕事も担っていたとお聞きしました。今回の取組でも、高齢者だけでなく、市民の皆さんと健康を考える機会を作りたいと話されていました。学校でも子どもたちを生活習慣病から守るために、食育と生活習慣について考えることを大事にしています。今回の取組で子どもたちの健康状態を把握できて、子どもと保護者が一緒に健康について考えられる機会ができればと期待をしています。

Profile ／吉國幸宏さん
鹿屋市出身（51歳）
垂水市立新城小学校の教頭

食を通じて元気老人を増やしていきたい。（深見 美智代）

私の家は垂水市の海潟地区でカンパチ養殖業を営んでいますが、亡くなった父の介護施設を建てたいという思いと、現在養殖業を営む夫の後押しで、介護施設を立ち上げました。施設では他の介護施設との違いを出すため、カンパチ養殖業者が介護施設をしている強みを生かし、食事にカンパチ料理を提供しています。また、いろいろな方々に協力をもらいながら介護施設でのカンパチを使った食事の充実を図っています。先日の記者会見で今回の取組で「食」の話がでて、私たちのしてきたことは間違いではなかったんだと、とても勇気をいただきました。垂水市特産のブリ・カンパチを健康につなげ、地元水産業の振興と元気老人を増やし、市が活性化すればと、期待をしています。また、私たちが今回の取組のモデルとなれるように、協力していけたらと思っています。

Profile ／深見美智代さん
垂水市出身（59歳）
正信会ほほえみの園長

平成29年度は、まず「高齢者の健康状態を把握すること（65歳以上の方の健康チェック）」から進める予定となっています。詳しい内容については、随時ご紹介してまいりますので、垂水市が、安心安全でより住みやすいまちであるために、皆様からのご理解とご協力をお願いいたします。